

## 「被災地の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究」

### 平成28年度成果伝達会「シャインマスカット盆前出荷による高収益ブドウ栽培を目指して」

食料生産地域再生のための先端技術展開事業「被災地の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究」で得られた研究成果の速やかな普及を図るため、平成28年度成果伝達会が「シャインマスカット盆前出荷による高収益ブドウ栽培を目指して」と題して、平成28年8月17日（水）に宮城県農業・園芸総合研究所において開催されました。当日は、台風の影響で残念ながら現地実証ほ及び所内ほ場の視察は中止となり、写真スライドにより現地実証ほ場の状況を紹介しました。

#### <成果伝達会>

宮城県からは、「シャインマスカット」の現地栽培実証研究の成果、及び盆前出荷を想定した加温栽培試験の1年目の状況について説明しました。続いて、島根県からは、盆前出荷を狙った加温栽培について、山形県からは、有色果実袋を利用した収穫期延長及びフレッシュホルダーを利用した長期貯蔵技術について説明されました。さらに、農研機構果樹茶業研究部門からは、基本的なブドウの病虫害の説明及びこれまでの研究成果をもとにした減農薬防除体系について説明されました。また、加温栽培で得られた島根県産及び宮城県産の「シャインマスカット」を参加者の皆様にご試食頂きました。



山元町試験ほ場の様子



成果報告会



試食の様子